

内容評価基準6 視覚的なデータの表示

以下はこの内容評価基準カテゴリの中からレッスンを抜粋したものです。これらのレッスンがすべて自信をもって操作できるようになってから、次の内容評価基準カテゴリに進みましょう！

※各レッスンに該当するブックを開いてレッスンを行って下さい。

Lesson 8 5 (P154)

次の操作を行きましょう。

- (1) 表のデータをもとに、各商品分類の年度ごとの売上高の推移を表すマーカー付折れ線グラフを作成してください。項目軸には年度を配置します。
- (2) グラフのスタイルを「スタイル42」に変更してください。
- (3) グラフのレイアウトを「レイアウト4」に変更してください。

Lesson 8 8 (P158)

次の操作を行きましょう。

- (1) 凡例を削除してください。
- (2) データラベルを内部外側に追加してください。
次に、データラベルの表示を値から分類名とパーセンテージに変更してください。さらに、パーセンテージの小数点以下の表示桁数を1桁に設定してください。
- (3) データ要素「ワイン類」を切り離して、切り離し円を作成してください。

Lesson 8 9 (P160)

次の操作を行きましょう。

- (1) ワークシート「商品分類別」のグラフをセル範囲【A11:H30】に配置してください。
- (2) ワークシート「合計」のグラフの値軸の最小値を「120000」、最大値を「160000」、目盛間隔を「5000」に固定してください。
次に、セル範囲【A11:H30】に配置してください。

Lesson 9 0 (P161)

次の操作を行きましょう。

- (1) ワークシート「第1四半期」の埋め込みグラフをグラフシート「売上高推移」に変更してください。
- (2) グラフシート「第2四半期グラフ」をワークシート「第2四半期」の埋め込みグラフに変更してください。

Lesson 9 1 (P163)

次の操作を行きましょう。

- (1) グラフシート「商品分類別グラフ」のグラフの種類を集合横棒グラフに変更してください。
次に、項目軸が上から「日本酒類」「焼酎類」「ビール類」「ワイン類」「その他」の順に表示されるように、軸を反転してください。

Lesson 9 2 (P165)

次の操作を行きましょう。

- (1) セル【D7】を開始位置として、フォルダー「MOS-Excel2010(1)」のフォルダー「Lesson92」の画像「ロンドン」を挿入してください。
- (2) 挿入した画像のサイズを変更し、セル範囲【D7:F17】に配置してください。
次に画像を10度回転してください。

Lesson 9 4 (P168)

次の操作を行きましょう。

- (1) 「集合関係」カテゴリの SmartArt グラフィック「内向き→」を挿入してください。
次に、テキストウィンドウを表示し、1行目に「自分の主張」2行目に「聞き手のニーズ」と入力してください。
- (2) SmartArt グラフィックのスタイルを「パステル」に変更してください。
次に、SmartArt グラフィックの種類を「対立とバランスの矢印」に変更してください。

Lesson 9 5 (P170)

次の操作を行きましょう。

- (1) 図形を使って、セル【M6】の数値を楕円で囲んでください。図形のスタイルを「枠線のみ・赤、アクセント2」に変更し、塗りつぶしの色はなしに設定します。
- (2) 作成した楕円を「星 7」の図形に変更してください。

Lesson 9 8 (P174)

次の操作を行きましょう。

- (1) ワークシート「ロンドン校」の画像の彩度を「鮮やかさ：200%」に変更してください。
- (2) ワークシート「ケンブリッジ校」の画像に、「テクスチャライザー」のアート効果を適用してください。

Lesson 1 0 0 (P178)

次の操作を行きましょう。

- (1) セル範囲【H3:H11】のスパークラインの最小値を「0」に設定してください。
次に、最大値と最小値のデータマーカーを強調してください。
- (2) セル範囲【H3:H11】のスパークラインスタイルを「スパークラインスタイルアクセント2、黒+基本色50%」に変更してください。
- (3) セル範囲【H3:H11】のスパークラインの種類を折れ線に変更してください。
次に、データマーカーを表示してください。